

広報かるまい4

平成22年(2010年) No. 613

ありがとう 晴高小学校 瀬月の流れとともに

閉校の思い出を語る

軽米町立晴高小学校

贈 山内 運送
平成22年5月3日

晴高小

観音林小

山内小

今月の主な内容

- 山内、晴高、観音林小学校が閉校 2~5
- 平成22年度施政方針演術 6~9
- 軽高健児が夢と希望を胸に旅立ち 10~11
- 町職員の人事異動 14~15

閉校

地域に見守られ、
愛されてきた三校
その歴史に幕

閉校

— 地域に見守られ、
地域とともに育った3校
その歴史と伝統に幕 —

本年三月で閉校となった山内、晴高、観音林小学校。地域に見守られ、愛され地域と共に育った三つの小学校で三月二十日から二十二日にかけて閉校式と思い出を語る会が開催されました。地域住民のほか、卒業生など多くの人がかけつけ、母校に最後の別れを告げました。

閉校と同時に新しい一歩を踏み出した児童。各校で築き上げた歴史と伝統をそれぞれに学校に引き継ぎ、発展させてくれるはずです。

三校の閉校の様子と児童、教職員、地域住民の声を紹介します。

ひたむきさを心に
新しい伝統を

三年前に転任した時に、既に閉校は決まっておりましたが、やはり最後の一年はどこか寂しさを感じ、ため息をつくことも多くありました。

山内小は、学校の活動にPTAだけでなく、地域の人々がたくさん集まる学校でした。少人数校ということもあり、子ども達は皆仲がよく、また何事にも、もくもくと取り組み成果を上げてきました。このひたむきさを山内の伝統として心にすえ、晴山小学校でさらに新しい伝統を作り上げ、よりすばらしい力を身につけてほしいと心から願っています。町や教育関係者、地域や保護者の方々の、これまでの暖かい支援に感謝申し上げます。



山内小学校 菊地 孝 校長

それぞれの学校での
活躍を信じる

花いっぱいコンクールへの取り組み、地域の農産物を栽培体験し、収穫後に世間交流を行う殺彩交流会など、地域の皆さんからは教育に対するご理解とご協力をいただきました。そして歴代の校長先生をはじめとする教職員の皆さまのおかげで、今の晴高小学校があることに、心から感謝申し上げます。

みんな仲良く元気な子ども達、伝統芸能「高家えんぶり」に取り組む晴高小は、私たちに誇りです。晴高小の子どもたちは、別々の学校に進むことになりましたが、それぞれの学校で、多くの友だちと、仲良く、明るく、賢く、たくましい子どもになることを信じています。



晴高小学校 遠藤 修 校長

観小の宝を糧に
新しい校風と伝統を

母校を愛する会をはじめとする地域の皆さんや保護者の方々からは、学校の環境美化などたくさんのお力添えをいただき感謝申し上げます。

地域の宝として愛されてきた観小に幕を閉じるのは、万感迫る思いです。閉校後も地域の拠点として大事にされることと信じています。

教育目標のとおり、心あたたかく、かしこく、たくましく育った子ども達のことを誇りに思います。観音林小の宝である「校風・伝統・力」を心の糧にして、晴山小の新しい校風を作り、伝統を一から築きましよう。夢と希望をいだいて、力強くはじめの一歩を踏み出しましょう。



観音林小学校 吉住 俊子 校長

山内小学校

赤れんがの学び舎
山内神楽の継承に力

山内小学校（菊地孝校長、児童三十八人）の閉校式は三月二十日、午前十時から同校の講堂で開かれました。式典



母校への思いを込めて最後の校歌を歌いました



上) 菊地校長から山本町長に校旗が返納されました
右) 伝統芸能の山内神楽を披露する児童



学校DATE
■創立 明治9年
■児童数 38人
■卒業生 3,237人

には、全校児童三十八人のほか、保護者や卒業生、地域住民ら、約二百十人が参加しました。

菅原皓文教育委員長による告示が行われた後、菊地校長から山本町長に、校旗が返納されました。菊地校長は「何事にもひたむきに取り組む山内小の伝統を心にすえ、晴山小学校でよりすばらしい伝統を身につけてほしい」と児童らを激励しました。児童らは「楽しい思い出がいっぱいつまった、この赤れんがの校舎で過ごした日々を忘れません。一緒に学び、助け合った大切な友だちは、これからもいつまでも、山内小学校の間です。ありがとう山内小学校、さようなら山内小学校」と、感謝と別れの気持ちを、歌と言葉で表しました。

山内小校歌

作詞 櫻田史朗
作曲 吉田健次郎
村上仁一

めぐる山脈 北上に
秀ずる峯よ 折爪の
雲むらさきに 匂う朝
高き理想と 仰ぎつつ
学びの道を 進みゆく

清き流れの 瀬月内
智徳の泉 湧くところ
虹うるわしき せせらぎを
磨く心の 友として
学びの庭に 育ちゆく

薫る伝統 受けついで
友愛むすぶ 花のわに
風さやかなる 文の園
文化あらたに 培いて
学びの窓に むつみゆく

式典後の思い出を語る会には、卒業生や地域の方など約百十人が参加。旧職員や卒業生による思い出のスピーチが行われた他、地域とともに取り組んできた山内神楽を児童らが披露。参加者からは惜しまない拍手が贈られました。同校は明治九年に創立。昭和三十四年に旧大清水小学校との統合を経て、これまでに三千二百三十七人の卒業生を輩出してきました。四月から六年生は晴山中へ、在校生は晴山小へと進みます。

interview



前生徒会長
丸館悠綺さん
(6年=当時)

思い出いっぱいの学校

親も通っていた学校ということもあり、とても寂しく感じています。山内小学校は、楽しい思い出がたくさん詰まった学校なので、建物を何かに使って残してもらいたいです。



閉校事業実行委員長
上山勝志さん
(東)

たくましく生き続けてほしい

学校としての機能を十分に果たせなくなるかもしれないという点で、閉校も仕方ないのかなあと感じています。今日で閉校となりますが、山内小の「継続は力なり」という校訓のとおり、子ども達にはたくましく生き続けてほしいと思います。

観音林小学校

伝統の観小力太鼓 地域へ継承



上)「観音林力太鼓」として5年生以下児童及び児童会へ「観小力太鼓」の母校の閉校に熱く関心を持ちました



学校DATE
 ■創立 明治14年
 ■児童数 49人
 ■卒業生 3,050人



観音林小学校（吉住俊子校長、児童四十九人）の閉校式は三月二十二日、午前十一時から同校の体育館で開かれました。式典には、全校児童のほか、保護者や卒業生、地域住民ら、約百八十人が参加しました。

吉住校長は「観小の皆さんのことを誇りに思います。皆さんは晴山小を作り出す主人公、未来を担う主人公です。夢と希望をいだいて、力強く始めの一步をふみだしました。う」とあいさつしました。

児童らは別れの言葉と歌を披露。「たくさんの人たちが築き上げた、歴史ある観音林小学校。私たちの笑顔は、たくさんの人たちが見守ってくださったからです。四十九人

が精いっぱい取り組んできたこの一年、素晴らしい思い出がたくさんできました。この思い出を胸に、新しい海原に進んでいきます」と、学校や地域への感謝の気持ちや、新しい小学校での活躍を元気に誓いました。

式典後の思い出を語る会には、約百十人が参加。五、六年生による勇壮な観小力太鼓が披露され、その力強い音が体育館に響き渡りました。また、観小力太鼓は観音林力太鼓として観音林体育振興会へと引き継がれました。

同校は明治十四年に創立。昭和四十五年旧野場小学校との統合を経て、これまでに三千五十人の卒業生を輩出してきました。四月から、卒業生は晴山中へ、在校生は晴山小へ進みます。



思い出を胸に新しい海原に進むと誓った観音林小の児童

観音林小校歌

折爪たかく 雲を呼ぶ
 学びの窓に 風清く
 希望の光も 若みどり
 文読む声も 美わしく
 いそむ胸に 誇りあり
 豊かにひらく 古里の
 学びの庭に 若つばみ
 強く正しく 芳しき
 あらしに霜の 芳しき
 菊こそ永遠の 芳しき
 六とせを鍛え たゆみなく
 知徳の園に 虹とみ交わす
 花の輪かおる 友愛に
 郷土の明日を担いゆ

作詞 櫻田史朗
 作曲 鷹嘴洋一

interview



前児童会長
 小笠原連君
 (6年=当時)

伝統を引き継いでほしい

学校がなくなるのは寂しいけど、観音林小学校の伝統は、消えることなく残っていくと思います。5年生以下みんなには、新しい学校でもこのすばらしい伝統を引き継いで頑張ってもらいたいです。



閉校事業実行委員長
 古舘久功さん
 (高清水)

晴山小での活躍願う

人口の減少や時代の流れからいくと、閉校もやむを得ないのかなとも思います。新しくできた晴山小での子ども達の活躍を願っています。また、閉校とはなるものの、地域の活性化のためにも学校を活用できればと思います。

晴高小学校

地域と共に築いた
 花だんが美しい学校



上) 参加者全員で最後の校歌を元気に歌いました
 左) 児童らの発表に、会場からは惜しみない拍手が贈られました

晴高小学校（遠藤修校長、児童三十三人）の閉校式は三月二十一日、午前十時から同校の体育館で開かれました。

式典には、全校児童のほか、保護者や卒業生、地域住民ら、約二百十人が参加しました。

閉校後、軽米小と晴山小の



学校DATE
 ■創立 昭和44年
 ■児童数 33人
 ■卒業生 757人



式典後の思い出を語る会には、卒業生や地域住民など約百二十人が参加。児童らは、地域の協力を得ながら取り組んできた高家えんぶりを披露し、閉校に花を

二校に分かれて進む児童に対し遠藤校長は「それぞれの学校で、多くの友だちと、仲良く、明るく、賢く、たくましい子どもになることを信じています」と激励の言葉を述べました。児童らは晴高小での思い出を語るとともに「楽しかった思い出と、すばらしい伝統を胸にいだき、輝く未来に向かって旅立ちます」とこれからの活躍を誓い、出席者全員で校歌を歌い母校に別れを告げました。



地域住民と学校が協力し続けられてきた高家えんぶり

晴高小校歌

丘の緑に 風かおる
 光豊かな わが母校
 学びの窓に 咲きにおう
 真理の花や 今ひらく
 瀬月の流れ 近く聞く
 恵み豊かな わが母校
 緑の園に 育ちゆき
 心のしずく 今ひかる
 折爪の嶺 仰ぎ見る
 理想豊かな わが母校
 理想をうつつ 山脈に
 健児の炎 今燃ゆる

作詞 伊藤正雄
 作曲 柴田旬弘

interview



前児童会長
 田端雅人君
 (6年=当時)

えんぶり続けてほしい

なくなるのは寂しいけど、仕方ないのかなとも思います。5年生以下は、それぞれの学校に進むことになりませんが、どちらの学校でも友だちをたくさん作って、勉強も運動も頑張ってもらいたいです。えんぶりも続けてやってほしいです。



閉校事業実行委員長
 寺澤正幸さん
 (向高家)

子どもがお世話になった学校

自分は高家小学校でしたが、晴高小は子どもたちがとてもお世話になった学校でした。今日で最後、校歌を歌うのも最後と考えると、寂しい気持ちです。晴高小の児童は、別々の学校になってしまっていますが、元気に頑張ってもらいたいです。

活力ある町づくりを

町議会三月定例会が、三月三日から十六日まで開かれました。平成二十二年一般会計当初予算について審議が行われたほか、平成二十二年の町政の進むべき方向性について、山本賢一町長が施政方針演説を行いました。また、菅原皓文町教育委員長が町教育行政方針について演説。演説の内容や本年度の事業などについてお知らせします。



平成22年度の施政方針を述べる山本町長

国、地方とも厳しい財政状況 協働参画の町づくりを

日本の経済は、リーマンショック以来の最悪の状況を脱し、景気は持ち直してきているものの、自立性に乏しく、失業率は高水準にあるなど依然として厳しい状況となっております。

こうした状況の中で国は、雇用、環境、景気を大きな柱とする「明日の安心と成長のための緊急経済対策」をとりまとめ、現下の厳しい経済・雇用状況、直面する円高・デフレ状況を踏まえ、景気回復を確かなものとするための経済対策に取り組んでいくこととしております。

さて、私が町長に就任し二期目の最終年となりますが、かつて経験したことのない国、地方とも依然として厳しい財政状況が続く中にあっても、町民の負託に応え、活力に満ちた豊かな地域社会を

現していくためには、住民に身近な行政が地域のニーズに的確に対応したサービスの提供ができる地方自治と分権社会の構築がますます重要となつてきております。

当町におきましては、協働・参画の町づくりを基本として、平成十五年度に策定し

戸籍電算化やいちい荘民営化など 行政改革に取り組んできた一年

行政改革の主な取り組みを申し上げますと、行政サービスの維持向上につきましては、行政組織の見直しによる窓口の一元化や申請書類への押印の廃止などの簡素化などを図ってきたところであります。また、当町の長年の懸案事項でありました戸籍事務の電算化につきましては、三月十五日には、戸籍電算システム稼働式を予定しており、

た第三次軽米町行政改革大綱に基づき、行政経費の節減と効率的、効果的な行政の運営に努めてきたところであります。この結果、計画目標を上回る約六億八千五百万円の経費削減を達成したところであり、財政健全化法に基づく実質公債比率、将来負担比率ともに県内市町村の平均を下回り、健全な財政を維持しているところであります。

二十二年八月一日から戸籍の完全電算化となることにより、窓口での迅速な対応と住民サービスの向上に努めて参ります。

事務事業の見直しにつきましては、児童、生徒の減少等による児童館、小中学校の統廃合の推進や特別養護老人ホームいちい荘の民間への外部委託などを実施したところであります。

主要施策

定員管理、給与の適正化及び人材育成につきましては、職員適正化計画に基づき、職員数の削減とともに、給与・手当等の見直し、削減を実施してきたところであります。

また、民間研修プログラムを活用したおりつめ未来塾や市町村アカデミーへの職員の派遣、民間企業への研修派遣など職員の意識啓発と業務能力の向上を図ってきました。

総合発展計画の策定や 少子化対策などが課題

平成二十二年度の重点課題の一つ目であります軽米町総合発展計画の策定については、平成二十二年において策定しました町政の長期的な指針となります軽米町総合発展計画の計画期間が二十二年度で終了することから、これまでの取り組みを総合的に検証し、町民の皆様のご意見を基本としながら、今後の町の進むべき方向など町づくりの指針となるべき新たな計画の策定に取り組んで参ります。

二つ目の課題であります行政改革の推進につきましては、厳しい財政状況が続く中で、今後とも引き続き徹底した行政改革の推進と効率的で持続可能な財政体質への転換を図って参ります。

三つ目の課題であります少子化対策につきましては、

当町におきましても年々子ども数が減少の傾向にありまます。すこやかベビー祝金の制度拡充や児童手当の支給、子育て親子の交流を目的とした、びよびよ教室、保育園における延長保育、小学校低学年を対象とした軽米児童クラブの設置などに取り組んで参つたところであります。平成二十二年においては、未満児保育、延長保育等の多様化する保育需要に対応していくため、晴山地区のへき地保育所、児童館の統合による常設保育園の新設とともに、子育て家庭における保育所持機児童の解消や保育経費の低減などよりよい子育て環境を一層推進するため、同時入所園児の第二子以降の無料化などの保育サービスの充実に努めて参ります。

①安全で快適な町づくり

【道路】町道の整備（継続）

町道松ノ脇下向線、町道蛇口道合線などの五路線

（新規）町道上尾田二号線、町道八木沢線、町道観音林前谷地線の三路線

【町営住宅】住宅リフォーム助成制度（町民が居住する住宅の修繕や改修を行った場合、町から商品券を交付する制度）の創設

【公共下水道】桜山、仲軽米地区の管路布設工事と舗装本復旧工事

【水道】小軽米、小玉川、晴高、長倉、笹渡の五簡易水道事業を軽米上水道事業に統合、小軽米簡易水道施設

の浄水場、配水池の建設、老朽管の布設替等の整備

【消防】蛇口・大沢地区の消防団拠点施設の整備

【通信対策】町内全域への光ファイバーを敷設整備

【環境衛生】ごみリサイクルのモニター等の募集、生ごみ処理機の貸し出し、一般

廃棄物の減量化に向けた実証試験

②健康で安心して暮らせる町づくり

【国民健康保険】糖尿病、高血圧症、高脂血症などの生活習慣病に着目した特定健診及び保健指導の取り組みの推進

【障害者福祉】自立支援給付と地域生活支援事業を中心

に総合的なサービスの提供や宅障がい者の見守り体制づくり、こころの相談や社会復帰教室「すみれ会」の継続

【地域子育て支援】びよびよ広場、延長保育、児童クラブの継続実施

母子の交流の場として、青少年ホームで開催されているビヨビヨ広場



母子の交流の場として、青少年ホームで開催されているビヨビヨ広場

③働きがいのある産業の展開する町づくり

【農業振興】米の戸別所得補償と水田利用自給力向上事業の実施、食の安全・安心システムの確立、軽米町生

教育行政の 一層の推進に努める



平成22年度の行政方針を述べた
菅原皓文教育委員長

軽米町の教育は、町民各位の深いご理解と関係者のためまい努力により、着実な発展を続けて参りました。しかしながら、世界同時不況から始まった社会経済の変化は、雇用不安など地域経済にも影響が現れ始めており、また、少子・高齢化社会の進行や地球規模での環境問題、政治分野での大きな変化など、私たちを取り巻く状況は、かつてないほど変化が激しくなっております。このような状況の中で、平成十八年に改正された教育基

教育による豊かな人格形成を

本法では、教育の目標の一つに「幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと」を掲げ、教育による人間性の豊かな人格の形成

主

学校教育の充実について申しあげます。

学力的向上については、基礎的・基本的な内容の確実な定着を図るため、理解や習熟の程度に応じた指導や授業と連動した家庭学習など、個に応じたきめ細かな指導に努め、指導体制や学習支援員、ICT活用を含め指導方法、学習形態の工夫改善に努めてまいります。

学校統合については、円子小学校について、円子地区住民で構成する「円子小学校の統合に関する検討委員会」からの学校統合の要望を受け、平成二十三年度の軽米小学校への統合に向けて進めて参り

要

たいと思います。

生涯学習のまちづくりについては「協働・参画による生涯学習のまちづくり」を進め、町民の自主的・主体的な学習活動の支援に努めます。健やかな成長を育む家庭教育の充実については、国の補助事業「家庭教育支援基盤形成事業」を導入し子どもの発達段階に応じた子育て、しつけ、食育などに関する家庭教育の充実を図ります。

図書館運営については、蔵書の閲覧、検索、管理などを一元的に行う図書館情報システムを導入し、利用者の利便性の向上に努めます。

施

生涯スポーツの推進につきましては、体育指導委員や関係団体の協力を得ながら、いつでも、どこでも、だれもがスポーツに親しみながら、体力向上、健康で生きがいのある日々をおくられる使いやすい社会体育施設づくりと学校体育施設の開放事業を進めながら、町民のスポーツ人口の拡大に努めてまいります。

芸術文化の振興につきましては、多摩交響楽団の演奏会を始め、各種芸術文化の鑑賞の機会を提供し、町民の意欲的な芸術文化活動を促進し、芸術文化活動の成果を発表する機会の拡充を図ってまいります。

策

- 【園芸振興】(野菜) 雨よけほうれん草やネギ等の価格安定対策など(花き) 希望農業担い手応援事業などによる資機材の導入など(葉たばこ) 機械化体系の整備・立枯病対策
- 【畜産振興】優良繁殖雌牛更新支援事業、軽米町家畜貸付事業、肉用牛生産の地域内一貫生産体制・町内産肥育素牛導入の推進、集団管理施設キャトルセンターの設置に向けた取り組み、移動式電気牧柵を用いた集約放牧
- 【中山間地域等直接支払制度】耕作放棄地の防止・生産性の向上や担い手育成に向けた継続実施
- 【農業生産基盤整備】下河南地区の農道及び用排水路整備工事の継続実施
- 【林業関係】町有林大平事業区の搬出間伐など、林道戸草内線開設工事の整備促進【木炭振興】「軽米木炭」のPR、緑化思想の啓蒙と林業後継者の育成、町有林向川原事業区の保育作業

- 【商工業振興】町商工会及び軽米中央商店会の各種事業への助成、中小企業の支援強化、町の制度融資の斡旋・利子補給事業の継続実施【中心商店街の活性化対策】軽トラ市や夏祭り・食フェスタなどの開催、町内共通商品券の発行
- 【観光】森と水とチューリップフェスティバルの開催及びアジサイの植栽・軽米秋まつりの開催
- 【地場産業の振興】特産品の開発と販路拡大を支援、首都圏に向けた流通や交流事業の推進
- 【緊急雇用対策】国の雇用創出事業に対応するふるさと雇用再生特別基金事業と緊急雇用創出事業等を導入
- ④個性を生かした創造性にあふれた町づくり
- 【生涯学習の推進】姉妹町音更町との子ども会リーダー相互研修の継続実施
- 【生涯スポーツの振興】総合体育大会・スポーツふれあい交流推進事業として少年野球教室等の開催、チャレンジデーへの参加



ボランティアの手により行われる
芝桜の植栽作業

- 【学校】円子小の軽米小への統合、軽米中武道場建設、小中学校へ太陽光発電の整備、晴山小のプールと屋外環境整備、軽米小建築に向けた設計及び調査、晴山中の耐震補強、スクールバス導入の検討
- 【交流事業】首都圏消費者による軽米応援団・雑穀オーナー制度の推進
- ⑤共に創る町づくり
- 【協働参画】町総合発展計画の策定、協働参画地域づくりチャレンジ事業の活用、結いの道づくり・協働の川づくり事業の実施、パークゴルフ場芝桜の植栽など花による景観向上・交流人口の拡大

当初

福祉と教育環境の 充実を基本に編成

二十二年度の予算編成に当たっては、厳しい財政環境を踏まえ、引き続き行政改革を進め、歳入では、町税収入の確保や使用料等の適正な受益者負担をお願いしながら、自主財源の確保に努めます。歳出では、総人件費の削減・抑制、費用対効果の検証による事務事業の見直しなど、歳入に見合う歳出の抑制を基本とした健全財政への取り組みを強化し、豊かで安心して生活ができる魅力ある地域の創造に向けて、身近な社会資本の整備、地域福祉の向上及び学校教育環境の充実などを基本に予算編成に取り組んで参りました。

歳入の確保と歳出の抑制を基本に編成しましたが、最終的に一億円を超える財源不足を生じたところであります。この財源不足額については、財政調整基金により調整させていただきましたが、今後、一層効率的な予算の執行に努める一方、財政の厳しい状況を直視し、施策等の見直しと経費の節減に徹しながら、限られた財源の重点的・効率的な配分に努めるとともに、平成二十二年度において新たな行政改革大綱の策定を進めて参ります。



予算

軽米高校で卒業式

夢と希望を胸に旅立ち

町内で唯一の高校として、地域連携型中高一貫教育など地域と連携し一体となった活動に取り組む県立軽米高校（笹山真澄校長、生徒303人）。この学び舎での3年間の成果と思い出を胸に3月2日、104人が晴れて卒業を迎えました。町の将来を担う軽高健児たちの、母校での思い出やこれからの抱負を聞きました。（進学と就職の状況は右表のとおりです）



笹山校長（左）から卒業証書を受け取る卒業生

平成21年度の県立軽米高校卒業生進路状況

（平成22年3月31日現在）

◆進学の状況（延べ合格者数）◆

	国立大	私大	短大	専門学校	
				医療系	その他
男子	7人	2人	2人	3人	18人
女子	4人	12人	8人	4人	11人
合計	11人	14人	10人	7人	29人

◆就職の状況◆

《内定者の就職先内訳》

	希望者数	内定者数	内定率	二戸管内	県内（二戸除く）	八戸管内	県外（八戸除く）
男子	21人	19人	90%	7人	1人	0人	11人
女子	16人	15人	94%	1人	1人	2人	11人
合計	37人	34人	92%	8人	2人	2人	22人



3年生にエールを送った在校生

◆公務員試験合格状況◆

岩手県警察官B、神奈川県警察官B、二戸消防署（2人）、東京消防庁消防官Ⅲ類（2人）、自衛隊2士



あやの
小野寺彩乃さん（下晴山）
岩手県立大学宮古短期大学部
（宮古市）

私の高校3年間の思い出で特に印象に残っているのは、昨年8月に行われた全日本合唱コンクール岩手県大会です。高校生活最後の大会ということもあり、金賞をとろうという気持ちが特に強かったです。練習をしっかりと感じたこともあったけれど、それを乗り越える

ことができたから銅賞を得ることができたのだと思います。部活を含め、学校生活はとても充実したものでした。その学校生活で得たものを、これからの生活で生かしていきたいと思っています。



けいすけ
竹澤圭祐さん（荒町）
岩手大学人文社会科学部
（盛岡市）

高校での出来事は、楽しかったことも辛かったことも全てが良い思い出として残っています。こんなにも最高の高校生活を送れたのも先生方や仲間がいたからです。本当にありがとうございました。大学では、この経験を生かしさらに知識を深めていきたいです。また、知識を深めるだけでなく、人間として何段階も成長できるように頑張ります。さらに、自分の夢が達成できるように、またその夢が達成できなくても、大学生活を後悔しないように生活していきたいです!!

た、知識を深めるだけでなく、人間として何段階も成長できるように頑張ります。さらに、自分の夢が達成できるように、またその夢が達成できなくても、大学生活を後悔しないように生活していきたいです!!

ゆりか
工藤百合香さん（萩田）
県立二戸高等看護学院
（二戸市）



軽米高校で過ごした3年間は、あっという間でした。私が壁にぶつかった時、支えてくれた家族や友だちに本当に感謝したいです。今までたくさん支えてもらったので、今度は私が多くの人を支えていける存在になりたいと思っています。小さいころからの夢だった看護師になるため、大変なこともあると思いますが、一生懸命勉強していきたいと思っています。将来は、患者さんの命とまっすぐに向き合い精神的に支えていける看護師を目指したいです。

だいき
宮本大輝さん（上円子）
二戸消防署
（二戸管内）



長年の夢だった消防士として働けることになりました。春から矢巾の消防学校に入ることになります。そこで専門的な知識を学び、技術を身につけ、早くプロとして働けるように努力します。そして将来的には、救急救命士の資格を取得し、人命救助に力を入れていきたいと思っています。私が夢を叶えられたのも学校の先生方、地域の皆さんの応援、そして家族の支えがあったからだと思っています。たくさんの人たちに感謝しながら4月から頑張っていきたいと思っています。

長年の夢だった消防士として働けることになりました。春から矢巾の消防学校に入ることになります。そこで専門的な知識を学び、技術を身につけ、早くプロとして働けるように努力します。そして将来的には、救急救命士の資格を取得し、人命救助に力を入れていきたいと思っています。私が夢を叶えられたのも学校の先生方、地域の皆さんの応援、そして家族の支えがあったからだと思っています。たくさんの人たちに感謝しながら4月から頑張っていきたいと思っています。

じゅん
細谷地淳さん（笹渡）
株式会社阿部繁孝商店
（九戸村）



私は九戸村の阿部繁孝商店に内定しました。4月1日からこちらの会社で働くことになります。しっかりと働いて会社に貢献できるように頑張りたいと思います。また、3年1組はとても楽しいクラスでほとんど毎日笑っていたような気がします。毎日楽しい時間をありがとうございました。4月からは社会人としての自覚を持って頑張っていきたいと思っています。会社が目標としている品質日本一が実現できるよう頑張りたいと思います。

みこと
中村美琴さん（上河南）
高崎健康福祉大学健康福祉学部
（群馬県）



高校3年間は本当にあっという間でした。勉強や部活など、大変なことも多くありましたが、先生方や友だち、家族に支えられ、充実した毎日を過ごすことができました。衝突することもありましたが、私を支えてくれた全ての人に本当に感謝しています。これからは、知っている人がいない環境での生活になりますが、軽米高校で学んだことを忘れず、夢を実現できるように頑張りたいです。

しょうへい
江刺家祥平さん（下河南）
青森大学社会学部
（青森県）



私の高校生活の思い出といえば、ひたすら野球づけの目々を過ごしたことです。そこでは、さまざまな出会いやドラマがありました。苦しい時、悲しい時に共に過ごしてきた先輩や仲間たちとのあつい友情を大切に、将来の夢に向かって進んでいきたいと思っています。私は進学の道を選びましたが、そこではさまざまなことを学び、あらゆることにチャレンジしてみたいと考えています。お世話になった皆さん、ありがとうございました。

私は進学の道を選びましたが、そこではさまざまなことを学び、あらゆることにチャレンジしてみたいと考えています。お世話になった皆さん、ありがとうございました。

ゆき
下谷地夕希さん（下谷地渡）
株式会社オオゼキ
（東京都）



高校での3年間はとても短くあっという間でした。特に最後の1年はとても楽しくて、友だちとたくさんの思い出を作り、充実した毎を送ることができました。就職先も、先生方のご指導や両親が理解してくれたおかげで無事に決めることができました。本当に感謝しています。私は接客の仕事をするので、大変なこともあると思いますが、感謝の気持ちを忘れず人との出会いを大切に頑張っていきたいと思っています。

私は接客の仕事をするので、大変なこともあると思いますが、感謝の気持ちを忘れず人との出会いを大切に頑張っていきたいと思っています。

工藤ケフさん(仲町)

元気に百歳

仲町の工藤ケフさんが、三月六日に誕生日を迎え、めでたく百歳となりました。自宅には親族らが集まり、ケフさんの大好きな花をプレゼントするなど、百歳の誕生日を祝いました。

また山本町長もケフさんのもとを訪れ「おめでとうございます

100歳おめでとうございます



山本町長の祝福を受け、喜びの表情をみせるケフさん(右)

います。これからも元気で生きてください」と、長寿祝い金と「寿」と自筆した色紙を手渡しました。

ケフさんは「いつの間にか百歳になったという感じで実感がありません。虚弱体質だったので、長生きできるとは思っていませんでした。みんな



離れて住む親族も自宅にかけつけ誕生日を祝いました

なにお祝いしてもらってありがたいです」と、しっかりとした口調で喜びを話していました。

ケフさんは、明治四十三年に、現在の花巻市(石鳥谷町)に生まれ、結婚後昭和十七年から六十七年にわたり、軽米で生活してきました。お花や短歌、俳句などを詠むことが好きで、毎日つけているという日記の中でも、その日感じたことを歌にして残しています。また、現在も自宅の二階に部屋があり、毎日階段を上り下りするなど、元気に百歳を迎えました。

ケフさんを含め、軽米町内の百歳以上のお年寄り五人(平成二十二年三月三十一日現在)となりました。

平成21年度小中学生読書感想文・感想画コンクール表彰式

心を打たれた一冊



(後列左から)中野教育長、吉住審査委員長、丸山さん(前列左から)戸草内君、賣井坂君、巖主さん、小笠原君

町小中学生読書感想文・感想画コンクール(町教育委員会等主催)の表彰式が、三月五日に児童、生徒、保護者など百十人が出席して中央公民館で行われました。全七百七十四点の応募の中から、小学校低・中・高学年と中学生の各部門ごとに最優秀賞と優秀賞が一作品ずつと、優良賞二十五作品、佳作三十作品が選考。受賞者に表彰状と記念品が贈られました。

審査委員長の吉住俊子さん(観音林小学校Ⅱ当時)は「感動が豊かに表現されていて気持ち伝わってきました」と講評。表彰式後には、「虹色の部屋」主宰の丸山ちはやさん(盛岡市)による音楽を交えた読み聞かせなどが行われ、出席者は読書の楽しさや大切さを実感していました。

最優秀賞と優秀賞受賞者 (学校名・学年は受賞時、敬称略)

- 【読書感想画部門】
 - ◎小学校1・2年の部
 - 最優秀賞 巖主花菜(笹渡小2年)
 - 優秀賞 西館来夢(山内小2年)
 - ◎小学校3・4年の部
 - 最優秀賞 賣井坂怜矢(軽米小4年)
 - 優秀賞 佐々木千聡(晴高小4年)
 - ◎小学校5・6年の部
 - 最優秀賞 小笠原蓮(観音林小6年)
 - 優秀賞 山崎実穂(笹渡小5年)
 - ◎中学校の部
 - 最優秀賞 戸草内源(軽米中3年)
 - 優秀賞 山仁亜祐美(晴山中1年)



巖主花菜さんの感想画作品「かさじぞう」

平成21年度岩手県定例表彰式

消防功労者16人に表彰



受賞の報告に山本町長のもとを訪れた消防団員ら

長年にわたる消防団活動などの消防功労者に贈られる岩手県定例表彰の平成二十一年度表彰式が三月十七日に行われ、消防団員や婦人消防協力隊員など十八人が表彰されました。盛岡市の県民会館で開催された式典には、表彰を受ける団員ら十六人が出席し、表彰状と記念品を受け取りました。

また受賞者らは表彰式後に役場を訪れ、山本町長に受賞の喜びを報告しました。

飼料用米組合の総会が開催

三者一体の取り組みを

平成二十一年度飼料用米生産組合(川原木賢一組合長)の通常総会は三月二十五日、組合員ら三十五人が出席し、総会会館瀧村屋で開催されました。

総会の開催にあたり川原木組合長は「軽米は県内で一番初めに飼料用米に取り組んだ町だ



川原木組合長は三者一体となって飼料用米に取り組むとあいさつしました

思う。農家、農協、行政など、三者一体となって取り組んでいきたい。町長も言っているとおり、今年は百ヘクタールを目標に、皆さんからはご協力いただきたい」とあいさつした。

また山本町長は「軽米は牛、豚、ブロイラーなど、畜産の大産地である。百ヘクタールも可能な数字。皆さんの活躍に期待するとともに、地域循環型農業をさらに進めていきたい」と激励しました。収支決算及び予算などは原案通り承認されました。

総会後に開催された懇親会には、㈱ニチレイフレッシュファームから、軽米産の飼料用米を食わせて育てた鶏肉が提供され、参加者らはさらなる発展に向けて意見を交わしました。

表彰者(敬称略)

- ★消防庁長官表彰
 - 【永年勤続功労章】 荻敷山菊夫(分団長)
- ★日本消防協会長表彰
 - 【功績章】 細谷地義昭(分団長)
 - 【勤続章】 中里照夫(副分団長)
 - 野澤金男(部長)
 - 山野下信夫(分団長)
 - 内澤信治(分団長)
 - 新井田昭男(副分団長)
- ★岩手県知事表彰
 - 【功績章】 中里照夫(副分団長)
 - 新井田昭男(副分団長)
 - 川嶋幸一(副分団長)
 - 長坂茂松(部長)
- ★岩手県消防協会長表彰
 - 【功績章】 坂本昌彦(分団長)
 - 【功績章】 井戸潤春男(部長)
 - 福田喜代志(分団長)
 - 田代啓吉(分団長)
 - 【内助功労者感謝状】
 - 井戸潤アキ(部長令夫人)
 - 巖主美智子(分団長令夫人)
 - 【優良婦人消防協力隊員】
 - 奥ヨシ(増子内地区隊長)

コミュニケーション助成事業(宝くじ)

山内神楽に新しい衣装



色鮮やかな新衣装で神楽を披露しました

山内神楽保存会(工藤敬一会長)は、財団法人自治総合センターのコミュニケーション助成事業で、古くなった衣装の更新や、現在復活に向けて練習に取り組んでいる翁舞、山の神舞で使用する神楽面などを新調しました。新しい衣装は、三月二十日に行われた、山内小学校思い出を語る会でお披露目されました。色鮮やかな衣装をまとった同校の児



新調した衣装には宝くじの普及啓発のためマークが付いています

童らは、卒業生や地域住民、教職員らが見守るなか、華麗な舞を披露しました。

同事業では、宝くじの収益をもとに、コミュニケーション活動のために必要な施設や設備の整備に対して助成を行っています。

戸籍総合システムがスタート



町の戸籍事務が電算化され、3月15日に「戸籍総合システム始動式」が行われ、山本賢一町長のほか、電算化に携わった富士ゼロックスシステムサービス（株）東北支店の菊池直行支店長などが出席しました。山本町長は「迅速、そして正確な戸籍事務ができる。より一層の個人情報保護などに努めていきたい」と期待を寄せました。

山本町長がe-taxで確定申告



所得税申告受付期間の2月26日、山本賢一町長が役場で国税電子申告・納税システム（e-Tax）を利用して申告し、手続きの迅速性をアピールしました。山本町長は二戸税務署の山田登署長ほか税務職員から、操作の説明を聞き申告書を作成。インターネット回線を通じてデータを送信しました。来年度以降も申告会場に、e-Tax用のパソコンを設置し、申告の効率化を図ります。

晴山中学校図書室に西井栄幸先生ライブラリを整備



晴山中学校は3月10日、元晴山中学校教諭の故西井栄幸さんの父、西井忠雄さんからいただいた寄附金で「西井栄幸ライブラリ」を整備しました。晴山中学校を訪れた忠雄さんに生徒会長の小笠原諒君は「たくさんの本をいただき感謝しています。この本棚を見ると西井先生が見守ってくれている気がします」と、お礼の言葉を述べました。

平成22年4月からの町役場組織と職員配置（敬称略）

＜平成22年4月1日発令＞

太字黒色は課長級職、◎はグループ長、☆は新採用、㊦は併任、㊧は兼務、㊨は再任用、色付氏名は異動・昇格者

総務課

- 課長 野中勲
- 総務担当主幹 小笠原邦之
- 企画グループ
 - ◎主任主査 中野武美
 - 主任主査 福田浩司
- 主任 関向孝行
- 主事 寺地亜紀子
- 主事 山下善昭
- ☆主事補 関向哲志
- 総務グループ
 - ◎課長補佐 高橋良春
 - 主任主査 坂下浩志
 - 主査 小笠原達夫
 - 主査 江刺家雅弘
 - 主査 日山一則
 - 主査 鶴飼靖紀
 - 主事 大村亮憲
 - 主事 工藤剛
 - 用務員 田中裕子

税務会計課

- 会計管理者兼課長 君成田隆
- 会計担当主幹 古里一人
- 課税グループ
 - ◎主任主査 於本一則
 - 主任主査 小笠原亨
 - 主査 外山和寿
 - 主査 川原木祐子
 - 主任 寺地隆之
- 収納グループ
 - ◎主任主査 中村恭博
 - 主任主査 吉岡 靖
 - ☆主事 山下博之
 - 会計グループ
 - ◎主任主査 中村恭博
 - 主事補 小野寺悟

町民生活課

- 課長 杉浦直行
- 総合窓口担当主幹 中野とき
- 課長補佐 工藤光政
- 総合窓口グループ
 - ◎主任主査 小林千鶴子
 - 主任 輪達ひろか
 - 主事 村井浩和
 - 町民生活グループ
 - ◎主任主査 平 俊彦
 - 主査 堀米豊樹
 - 主査 畑中幸夫
 - 主査 坂本修
 - 主査 吉岡芳幸
 - ☆主事 小野寺蘭子

- 小軽米出張所
- ◎主任主査 後藤良孝
- 晴山出張所
- ◎主任主査 中村明

健康ふれあいセンター

- 所長 中村利見
- 居宅サービスグループ
- 居宅介護支援グループ
 - ◎主任主査 松浦近子
 - 主任主査 生活相談員 下谷地了子
- 社会福祉主事 山田里美
- 主事 紫葉優樹
- 介護福祉士 外川愛子
- 介護福祉士 杉浦謙二
- 介護福祉士 下斗米敏
- 生活相談員 梅木久美子

健康福祉課

- 課長 鎌戸和則
- 福祉グループ
 - ◎主任主査 川島康夫
 - 主査 角田貴浩
 - 主査 橋場光雄
 - 健康づくりグループ
 - ◎保健師長 中里早苗
 - 主任主査 山本幸子
 - 主任主査 櫻場栄子
 - 主任主査 横島悦子
 - 主任看護師 藤田美枝子
 - 主任栄養士 工藤晃子
 - 主任保健師 日向安子
 - 主事 玉館博一

- 地域包括支援センター
- ◎所長 鎌戸和則
- 主任看護師 内城良子
- 主任看護師 下谷地由美子
- ☆社会福祉士 十文字沙織
- ◎保健師 島山貞子

軽米保育園

- 園長 古館 貴
- 園長代理 西山良子
- 主任主査 石川敦子
- 主任主査 中村明子
- 主任主査 野中恵美子
- 主任主査 長坂佐知子
- 主任主査 川崎弥生
- 主任主査 小林留美子
- 主任主査 山仁江利子
- 主任主査 君成田祐子
- 主任主査 滝沢暢子
- 主任主査 高山京子

小軽米保育園

- 園長 小林美紀子
- 園長代理 君成田美代子
- 主任主査 紫葉律子
- 主任主査 内澤典子
- 主任主査 安藤京子
- 主任主査 檀澤順子
- 主任主査 新井田直子

山内保育園

- 園長 畑中則子

笹渡保育園

- 園長 田畑トヨ

観音林児童館

- 館長 菅原和子
- 主任主査 大内蔵良子

円子児童館

- 館長 浅水ひろ
- 児童厚生員 大清水恵

議会事務局

- 局長 古里多一
- 主査 橋本邦子
- 主事 千葉久司
- ※監査委員事務局を併任

産業振興課

- 課長 下畑俊雄
- 商工観光担当主幹 兼田英明
- 農政企画グループ
 - ◎主任主査 高田和己
 - 主任主査 金山毅彦
 - 主任主査 梅木勝彦
 - 主任主査 戸草内和典
 - 主任主査 野中孝博
- 主任 於本博之
- 農林振興グループ
 - ◎課長補佐 日山 充
 - 主任主査 菅原敏見
 - 主任主査 大西 昇
 - 主査 菅波 敏
 - 主査 竹澤泰司
 - 商工観光グループ
 - ◎主任主査 山田元
 - 主任主査 福島貴浩
 - 主事 大川訓寿

農業委員会事務局

- ◎局長 下畑俊雄
- 担当主幹 横島益男
- ◎主任 於本博之

地域整備課

- 課長 小笠原茂
- 環境整備グループ
 - ◎課長補佐 日山久志
 - 主任主査 小林 浩
 - 主査 中村勇雄
 - 主査 小笠原隆人
 - 主査 神久保恵蔵
 - 主査 高田和生
 - 主査 池田明広
- 上下水道グループ
 - ◎主任主査 新井田一徳
 - 主任主査 大清水一敬
 - 主査 長瀬設男
- ※上下水道グループは水道事業所職員を併任

水道事業所

- ◎所長 小笠原茂
- 所長補佐 菅原高志
- 主任主査 川原木純二
- 主査 工藤 薫
- 主査 輪達隆志
- 主査 村山克彦
- 技能手 村山克彦
- ※事業所職員は地域整備課上下水道グループ併任

教育委員会事務局

- 教育次長 江刺家高
- 教育総務担当主幹兼次長補佐 山下 隆

生涯学習担当主幹

- ◎主任主査 中村正志
- 主任主査 佐々木久
- 主任主査 土佐勇一
- 主任主査 戸田沢光彦
- 主査 松山篤
- 主査 古館義明
- 生涯学習グループ
 - ◎主任主査兼社会教育主事 佐藤暢芳
 - 主査 日脇邦昭
 - 主査 外山充
 - 主査 上村利広
 - 主任兼学芸員 藤田直行
 - 主事 紫葉千賀子

軽米中央公民館

- 館長 中村正志
- 主任 鶴飼義信

町立図書館

- 館長 中村正志
- 主査(司書) 工藤祥子

軽米幼稚園

- 園長代理 田村せつ
- 主任主査 古館孝子
- 主任主査 大村眞理子
- 主任主査 中村由季

学校用務員

- 晴山中 坂上京子
- 軽米中 藤嶋百合子
- 小軽米中 田中敏子

【退職者】 敬称略

(平成22年3月31日付け)



- 竹下光雄 (町民生活課長)
- 齋藤 崇 (健康福祉課健康づくり担当主幹)
- 島山貞子 (健康福祉課保健師長)
- 西山武男 (小軽米保育園長)
- 泉山啓子 (軽米中用務員)

軽米高で英語コンテスト
劇やゲームで英語を学ぶ



表現豊かに寸劇を披露した、スキット部門優勝の2年3組「Queen」

県立軽米高校の1、2年生百九十九人は三月五日、英語力の向上を目的に、英語コンテストを開催しました。英語を使った寸劇を披露するスキット部門には、各クラスの予選を勝ち抜いた全十二チームが出場。海外の歌手やテレビアニメなどをテーマに、表現豊かにユーモアを交えて披露されました。シンデレラなどに出演した脇山春陽君は「英語が大好き。みんなの前で英語劇を披露できて楽しかった」と笑顔を見せていました。

観音林小で手話教室
手話を使って自己紹介

観音林小学校（吉住俊子校長、児童四十九人）の四年生は三月八日、町ボランティア連絡協議会会長の山崎雄一さん（鶴飼）と、東北メデイカル学院（五戸町）の学生、佐藤玲香さんを招いての手話講習会を開催しました。児童らは、あいさつや家族を表す方法などを学び、手話による自己紹介などに挑戦しました。山仁沙那君は「何回かやって少しずつ覚えてきた。もう少し覚えてみたいと思った」と話していました。（学校名などは三月八日現在）



山崎さん（右から2人目）らの指導のもと手話を学びました

花いっぱい表彰式、フラワーアレンジメント
華やかな作品が完成



箱の中に花を配置し作品を完成させたフラワーアレンジメント講習会

第二十一回町花いっぱいビューティ軽米推進コンクールの表彰式が三月二日に役場庁舎内で行われ、地域、学校、家庭のそれぞれの部門の受賞者に山本賢一町長から賞状と記念品が贈られました。続けて開催されたフラワーアレンジメント講習会には約三十人が参加。八戸市の花き販売店の方を講師に迎え、カーネーションやバラ、スイートピーなどを、箱の中にバランスよく配置し、華やかな作品を完成させました。

うまっこ教室の修了式
笑顔いっぱい楽しく交流

育児に対する不安を解消し、安心して育児できることを目的に開設されている「うまっこ教室」の修了式が、三月十一日に町健康ふれあいセンターで行われました。本年度最後の教室には四組の親子が参加し、町健康福祉課の職員らとともに、楽器演奏や体を使った遊びをするなどして交流を楽しみました。同教室は、毎月一回、健康ふれあいセンターで開催されており、親子の交流のほか、育児に対する相談やアドバイスを行っています。



体を使ってみんなで楽しく遊びました

円子神社で御湯釜祭
今年も全体的によい年に

二百年以上の伝統をもつ円子神社（大村邦雄宮司）の御湯釜祭が三月十五日、同神社で行われ、地域住民ら約三十人が参加しました。沸騰した釜の湯をかき混ぜ、湯気の出方を占う吉凶や天候、農作物のできなどを占う吉凶占いは、多くの項目で吉という結果となり、地域住民からは笑みがこぼれていました。また、占いの釜の湯は、飲むと無病息災になると伝えられており、住民らは持参した水筒などに入れて持ち帰りました。



多くの住民が湯気の出方を見守りました

しゃきつとクラブ晴山地区
料理や踊りで交流深める



雑穀を使ったダマコ汁作りを楽しむ地区住民

地域住民の交流と介護予防を目的として、月一回晴山公民館で活動している「しゃきつとクラブ」が、三月十八日に雑穀料理で交流会を行いました。食の匠の中館ミヤさん（駒板）が講師となり、イナキビを使ったダマコ汁作りなどが行われ、三十人が参加しました。参加者らは、雑穀料理を楽しんだほか、昔遊びや踊りで交流を深めました。鈴木綾子さん（観音林東）は「みんなで集まり話もできて、とても楽しい」と笑みを浮かべていました。

昭和60年10月31日姉妹提携

音更町だより

2月3日、音更町と北海道ココ・コーラボトリング、帯広開発建設部が情報提供についての協定を結びました。道の駅おとふけに設置している自動販売機の電子掲示板に道路情報や災害情報を掲示し、災害時には飲料の無料提供などを行います。



自動販売機の電子掲示板へ情報掲示を開始する点灯式の模様



健康福祉課 上席保健師 櫻場 栄子

こころはお元気ですか？
新聞やテレビ等でご承知のとおり、自殺者は、全国で年間3万人と交通事故死の4～6倍を占めております。岩手県は四百数十人で、軽米を含む二戸地区は三十数人となっています。この中には、こころの病（うつ病）が引き金になっている場合が多くあると言われています。こころの辛さは我慢せず、一人で抱えこまず信頼のおける誰かに、まずは話してみましょう。張りつめていた胸の苦しさが少し楽になるかもしれません。また、相談された方は、ゆっくり相手の話を聴いてあげましょう。また、早めに診察を受けるようにしましょう。町では、本年度も、保健師や専門医によるこころの相談を、必要な方が必要な時に利用しやすいよう工夫し続けていきます。一人でも多くの町民の命を守る一助になることを願って！



プロフィール
 【氏名】 Janine Bidmead
 (ジャニン・ビドミード)
 【国籍】 イングランド
 【略歴】 シェフィールド大学卒、2008年8月4日に町の英語指導助手として着任。

ジャニンのかるま日記

Fumiko: Janine, how was graduation for you?
 女子: ジャニンさんにとって、卒業ってどう?
 Janine: It was sad, but I felt very proud of all the 3rd graders. They worked so hard this year! I will miss them very much.
 ジャニン: 3年生全員のことをとても誇りに思っていたので、悲しかったわ。みんな本当に一生懸命頑張ってくれたから、別れるなんてとてもさみしいわ。
 Fumiko: Did you go to the graduation ceremony?
 女子: 卒業式に出席した?
 Janine: Yes, I went to Karumai Junior High School's graduation ceremony. My friend from England, Susanna came to visit me, so she came to the ceremony too.
 ジャニン: ええ、私は、軽米中学校の卒業式に出たの。ちょうどイギリスから私の友達のスザンナが来ていたので、式に彼女も参加したの。
 Fumiko: Did she enjoy it?
 女子: 喜んでた?
 Janine: Yes, she said everyone was so friendly.
 ジャニン: ええ、みんなとても親しみやすかったって。
 Fumiko: Did she go somewhere for sightseeing?
 女子: スザンナさん、どこか見に行ったの?
 Janine: Susanna went to Aomori, Ryusendo, and the coast. Then we both went to Kyoto and Tokyo to go sightseeing. Susanna loves Japan, especially purikura!!
 ジャニン: スザンナは、青森と龍泉洞、海岸をみてきて、それから、私と一緒に、京都と東京へ観光に行ってきたの。スザンナは、日本が好きで、特にプリクラがね!

また顔を表現した「人面付き土版」も多く見られますが、中でも当町の大日向Ⅱ遺跡から出土した人面付き土版(写真)は、高さ約十八センチ・幅約十二センチ・厚さ二センチと大型で、粘土紐で目・眉・鼻・口を表現した大変珍しいタイプとして注目されます。
 土偶と異なり手足が無く、使い方としては護符(お守り)説が有力です。これらの実用的で無いものを裝飾的に丁寧(ていねい)に仕上げるところに、縄文人の本当の「豊かさ」をうかがい知ることが出来ます。
 (教育委員会学芸員 藤田直行)

笑顔あつまれ! みんなの広場



ひろき 大村浩貴さん
 (20歳、下円子下組)
 身長171cm、血液型A型
 尾田川農園勤務

まさかの農業
 楽しみながら
 仕事しています

Q、仕事は何をしていますか?
 昨年の四月から、尾田川農園で働いています。雑穀の生産・加工・販売などを行っています。
 Q、仕事をしてみてどうですか?
 インテリアデザインの特設学校に行っていました。まさか農業関係の仕事をするとは思いませんでした。でも、初めてのことばかりで楽しいです。畑仕事が一番楽しいです。
 Q、自分の性格を一言で言ったら?
 八方美人。
 Q、趣味は?
 散歩と部屋の模様替えです。よ

く散歩しています。
 Q、町をどう思いますか?
 夜になると明かりが少ないので、もう少し街灯を増やしてほしいです。軽米は春夏秋冬どの季節もきれいで秋が一番好きです。山の色がきれいです。
 Q、あなたの夢は?
 結婚して愛妻家になること。
 ▼好きなこと: 風景写真を撮ること
 ▼好きな食べ物: ティラミス
 ▼嫌いな食べ物: 肉じゃが
 ▼今欲しいもの: マイホーム・彼女
 ▼今の悩み: 出合いがないこと
 ▼理想の異性のタイプ: 黒髪のきれいなO型の女性。おっとりした人や、天然人が好きです。芸能人であろうと、夏帆さんや綾瀬はるかさんがタイプです。

今月の俳句 (北光吟社 二月例句)

かた雪を踏み剪定のはかどりし 端川石造
 春雪や入り口開けて猫を待つ 川島由蔵
 春の田に大荒れの雨音をたて 早川慶子
 手を握り娘を送る夫日脚伸ぶ 中野とき
 大寒の日射しうすす薬師堂 丹下美恵子
 窓を打つ袂を返し雪女 松村英子
 念仏の数珠からからと涅槃寺 千葉紅園
 春待つやパステル色の服を買ひ 川崎郁子
 ぞくぞくと競い合ひつつ芽水仙 三上千栄女
 雲山に水木の枝のあかあかと 中田紀子

夢・希望・えんぴつ



円子小学校6年(上円子) 久保龍斗君

ぼくの通っている円子小学校は、今年度で閉校となります。自分たちの通っている学校がなくなるのだから少し寂しくなってしまうかもしれません。
 そこでぼくたち児童会執行部の出番です。ぼくたちが先頭に立って、明るく楽しい学校を作りたいと思います。そのため心がけたいことが二つあります。
 一つ目は、どんな活動にも明るく楽しく取り組めるようにすることです。まずはあいさつからです。タッチしながらあいさつしたり、笑顔であいさつできたらいいと思います。
 二つ目は、だれでも参加できる活動です。ぼくの学校には車いすの児童がいます。その人のことも考えて活動が進むようにしなければいけません。みんなで思いやりのある活動を考えていきたいです。
 円子小学校の最後の一年をみんなの笑顔がいっぱいになるようにしたいです。そのために、みんなと協力して頑張りたいと思います。

最後の一年を明るく



大日向Ⅱ遺跡出土の人面付き土版 (写真提供(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター)

今回も縄文人の狩猟・採集生活の道具としては役に立たない「第二の道具」とも呼ばれる不思議な形をした土製品の一つを紹介しましょう。
 縄文時代晩期(約三千年〜二千三百年前)に東北から関東地方で流行するものに、「土版」と呼ばれる楕円形あるいは方形で板状の土製品があります。元々は岩手県北の馬淵川流域周辺の石で作られた「岩版」から始まり、次第に土製に変化しながら関東にまで広がっていったようです。
 土版には、棒状の工具で引いた沈線(ちんせん)や渦線(うずせん)を組み合わせた幾何学的な文様が表面一杯に描かれ、中心線を挟んで左右対称も意図しています。

生活安全の森

二戸警察署軽米駐在所 (46-2004)

高齢者が関わる交通事故が多発

高齢者が関わる交通事故が多発しています。次の点に気をつけて交通事故を防ぎましょう！

◎ドライバー編

- ・一時停止場所や見通しの悪い交差点などは、確実に一旦停止し安全を確認しましょう
- ・後部座席もシートベルトを着用しましょう。
- ・ライトの早め点灯を心がけましょう。

◎自転車編

- ・一時停止場所や見通しの悪い交差点などは、確実に一旦停止し安全を確認しましょう
- ・70歳以上の方は「歩道通行可」の標識が無くても、歩道を通行できます。歩行者の通行を妨げないように注意して運転しましょう
- ・夜間はライトを点灯し、反射材を装着して走りましょう。

◎歩行者編

- ・慣れた道でも横断前に安全確認をしましょう
- ・横断の後半は「左から車が来ないか」もう一度確認しましょう
- ・夜間や早朝の外出は、明るい色の服装と反射材の着用を心がけましょう

2月の事故と救急の数字

▶ 町内の交通事故、救急車出動回数

	当月	累計	昨年比
人身事故	0件	0件	-3
死亡者	0人	0人	±0
負傷者	0人	0人	-3
物損事故	13件	37件	+14
救急車出動回数	32回	67回	+12

▶ 飲酒運転検挙者はありません

※(累計)は1月からの合計
※見直しにより前月の数値と異なる場合があります

軽米病院だより

軽米病院 (46-2411)

軽米病院も医師不足深刻

軽米病院の現状をご紹介します。一般病床60床、療養病床45床の小規模病院で、地元の救急医療と慢性期医療を担っており、糖尿病をはじめとする生活習慣病の診療や大腸ポリープの治療などが特徴です。最近医療の機能分担が進み、二戸病院や久慈病院が急性期(症状・兆候の発現が急激で、生命が危機な状態など)医療に特化し、軽米病院は後方病院としての役割が増えています。平成21年度では、軽米病院の入院患者のうち軽米町の住民は55%程度であり、二戸、久慈が各10%、九戸が15%という状況です。軽米病院は軽米町民だけのものではなく、県北全体のものになっています。これらの機能を果たすことで、経営的にも3年続けて黒字が予想されています。

しかし、医師不足は深刻で、内科でみると入



県北全体の役割を担っている軽米病院

院診療に4人、外来診療に2人あわせて6人の医師が必要なところを、常勤医3人に大学や他の県立病院等からの応援でやってきました。残念ながらこの4月から常勤医が2人に減ることになりました。できるだけ機能を維持したいところですが、外来の待ち時間、検査の日程、入院中の病状説明等で、ご不便をおかけすることがあるかもしれません。皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。(院長 横島孝雄)

町民生活課だより

役場町民生活課町民生活グループ (46-4734)

住宅エコポイント制度が開始 悪質な住宅リフォームなどにご注意ください

本年3月8日から、窓の断熱改修等の「エコリフォーム」や、断熱性能に優れた「エコ住宅」の新築工事を対象にして、さまざまな商品やサービスと交換できるポイントを発行する「住宅エコポイント制度」の申請受付が始まっております。

一方、悪質な住宅リフォーム訪問販売等(いわゆる点検商法)による消費者被害が後を絶ちません。また、太陽光発電設備への補助金制度を悪用した消費者被害も発生しています。

このようなことから、今後「住宅エコポイント制度」の悪用による消費者被害の発生も想定されますので、十分お気を付け下さい。制度の詳細についてご不明な点は、右記相談窓口まで遠慮なくお問い合わせ下さい。

さい。

さらに、「住宅紛争処理支援センター」においては、住宅の新築・リフォーム全般について、消費者相談を受け付けております。

■住宅エコポイント制度についての相談窓口

- ・ナビダイヤル(有料)
0570-064-717
- ・IP電話からの場合
03-5911-7803
※9:00~17:00(土・日・祝も受付)

■住宅紛争処理支援センター

- 03-3556-5147
※10:00~12:00、13:00~17:00

図書館だより

町立図書館 (46-4333)

— 今月の新刊 —

【児童書】

わたしはひろがる



(こどもの未来社)

作/岸武雄 絵/長谷川知子
子どもたちにとって親や兄弟、友人、勉強、社会、平和、人種、自然、環境、そして人間とは…。今の自分を見つめ、社会を見つめるなかで、たくましく成長する少女の様子を描く。

ルマの不思議なお店

三日月の魔法をあなたに



(ポプラ社)

作/村山早紀 絵/サクメイ
飛鳥は10歳になった。すると急にお化けやら妖怪やら、今まで見えなかった変なものが見えるようになった。困っていたらお姉ちゃんが「ルマの不思議なお店」を教えてください。

今月の図書館ひろば

日時：4月24日、午前10時～
場所：旧生活文化博物館

【一般書】

「ヨコミネ式」天才づくりの教科書



(講談社)

著/横峯吉文
落ちこぼれは小学校に入るまえから生まれている。彼らに足りないものは「自立心」。これを養うための「ヨコミネ式」幼児教育法を家庭でも実践できるよう具体的に紹介。

老いてこそ上機嫌



(海竜社)

著/田辺聖子
80歳を超えられた著者のこれまでの作品のなかから、「老いとの向き合い方」をテーマに珠玉の言葉を選びぬいたアンソロジー。読めば必ず元気がわいてくる一冊。

4月 April

16	金	
17	土	
18	日	
19	月	
20	火	ポリオ予防接種【ふ】14:00~14:30受付
21	水	3歳児健診【ふ】13:00~13:30受付
22	木	うまっこ教室【ふ】9:30~12:00受付
23	金	ポリオ予防接種【ふ】14:00~14:30受付
24	土	図書館ひろば【図】10:00~
25	日	育成会ソフトボール大会【ハ】 夜間・休日の納税相談【役場税務会計課】(～27日)
26	月	
27	火	ポリオ予防接種【ふ】14:00~14:30受付 二戸地区法律相談【消費生活センター】10:00~15:00(要予約 23-5800)
28	水	ピヨピヨ教室【青少年ホーム】10:00~12:00
29	木	【昭和の日】 森と水とチューリップフェスティバル【フ】～5月16日
30	金	

5月 May

1	土	
2	日	
3	月	【建国記念日】 森と水とチューリップフェスティバル・イベント開催日【フ】
4	火	【みどりの日】
5	水	【こどもの日】 森と水とチューリップフェスティバル・イベント開催日【フ】
6	木	
7	金	
8	土	
9	日	森と水とチューリップフェスティバル・イベント開催日【フ】
10	月	婦人検診【笹渡農業構造改善センター】9:00~10:00受付 【屋敷自治公民館】13:00~14:00受付
11	火	婦人検診【米田農業構造改善センター】9:00~10:00受付 【小軽米生活改善センター】13:00~14:00受付 二戸地区法律相談【消費生活センター】10:00~15:00(要予約 23-5800)
12	水	婦人検診【ふ】9:00~10:00受付 【門子生活改善センター】13:00~14:00受付
13	木	乳児健診【ふ】13:00~13:30受付 ピヨピヨ教室【青少年ホーム】10:00~12:00 寿大学開講式【公】10:00~
14	金	婦人検診【環】13:00~15:30、17:00~18:30受付
15	土	婦人検診【晴山公民館】9:00~10:00、13:00~14:00受付

(カレンダー中の【 】は開催場所下記のとおり表示します)
 体:町民体育館 環:農村環境改善センター 公:中央公民館
 図:町立図書館 病:県立軽米病院 ふ:健康ふれあいセンター
 老:老人福祉センター フ:雪谷川ダムフォリストパーク・軽米
 ミ:ミレットパーク 歴:歴史民俗資料館 ハ:ハートフル・ス
 ポーツランド 運:町営運動場 ゲ:ゲートボール場 野:高校野
 球場

スナップ写真館

山内、晴高、観音林小開校式
(3月20日～22日、各校)



皆に惜しまれながら、開校を迎えた3つの小学校



卒業生や地域の方々



そして児童とともに学校生活を送った先生方など



多くの人に見守られながら、その歴史に幕を閉じました

お知らせ
情報

Information

募集します

ボイラー実技講習
受講者を募集します

2級ボイラー技工士免許試験の資格が得られる、平成22年度上期のボイラー実技講習を次のとおり開催します。

▶日程:

- ①4月24日(土)～26日(月)
- ②5月29日(土)～31日(月)
- ③6月26日(土)～28日(月)

※連続3日間の受講が必要

▶会場:岩手教育会館(盛岡市)

▶受講料:19,000円(テキスト代含む)

▶定員:各回とも60人

【申し込み・問い合わせ先】
(社)日本ボイラ協会岩手支部
(019-624-5139)

危険物・消防設備士
試験開催のご案内

■危険物取扱者試験

▶日程:平成22年7月3日、7月10日、10月23日、10月30日、平成23年2月5日、2月12日

▶受付期間:7月3日と10日開催の試験は5月6日から5月14日まで(当日消印有効)
※10月23日以降についてはお問い合わせください

▶会場:盛岡市、二戸市、久慈市など(試験日により異なります)

■消防設備士試験

▶日程:①平成22年8月29日
②平成23年2月27日
▶受付期間:①7月8日から7月16日②1月6日から1月14日(ともに当日消印有効)

内科(9:00~17:00) 休日当番医 歯科(9:00~12:00)

千葉耳鼻咽喉科医院 (23-2009)	二戸市福岡	4月18日(日)	ムカイダ歯科クリニック (46-4636)	軽米町蓮台野
小野寺クリニック (46-2822)	軽米町門前	25日(日)	渡辺歯科医院 (23-2052)	二戸市堀野
おりそ内科循環器クリニック (22-2251)	二戸市福岡	29日(祝)	森川歯科医院 (23-6361)	二戸市堀野
浄法寺診療所 (38-2021)	二戸市浄法寺	5月2日(日)	ぼっぼ歯科クリニック (31-1182)	一戸町一戸
松井内科医院 (33-2201)	一戸町一戸	3日(祝)	窪島歯科医院 (23-2425)	二戸市福岡
管整形外科皮膚科クリニック (23-7311)	二戸市石切所	4日(祝)	ほんだ歯科クリニック (23-9591)	二戸市石切所
川村医院 (23-3252)	二戸市福岡	5日(祝)	阿部歯科クリニック (25-4182)	二戸市福岡
いちのへ内科クリニック (33-2701)	一戸町高善寺	9日(日)	ますだ歯科クリニック (26-8282)	二戸市石切所

会場:盛岡市、奥州市など
【申し込み・問い合わせ先】
(財)消防試験研究センター
(019-654-7006)

NHK学園
生徒を募集

NHK学園では、通信制の高等学校「普通科」の生徒を募集しています。

▶募集内容:高等学校 普通科
※NHKのテレビ・ラジオの放送を利用し、3年間で高校卒業資格を取得できます。登校は月に1~2回。

▶募集対象者:中学校を卒業した方。高等学校中退者など。

▶募集期間:4月20日(火)必着
【問い合わせ先】NHK学園
(042-572-3151)

その他

チューリップウオーク
みんなで歩きましょう

社団法人日本ウオーキング協会及び財団法人健康・体力づくり事業財団では、共同通信社及び地方紙(岩手県は岩手日報社)とともに、「健やか爽やかウオーク日本1800歩いてニッポンを元気に」と称して、全国の約1800市町村において「歩く国民運動」を平成23年度までに実施することになりました。

岩手県では、県ウオーキング協会が、健康づくり、森や川など自然への啓発活動などのテーマを設け、県内全市町村で開催いたします。

町では「軽米・チューリップウオーク」と称して、下記のとおりウオーキング大会を行います。健康づくりのために多数ご参加下さい。

▶期日:5月16日(日)
※雨天決行

▶日程:

- ・受付時間 10:00~10:30
- ・受付場所 役場前
- ・出発式 10:40~
- ・スタート 11:00~

▶コース:

- ・10キロコース 軽米町役場~雪谷川河川敷~徳楽寺前~上館~フォリストパーク着
- ・5キロコース 軽米町役場~雪谷川河川敷~軽米病院経由~沢里交差点折り返し~お仮屋前~役場着

※10キロコース参加者については、帰りはフォリストパークからシャトルバスを運行しますのでご利用下さい。(フォリストパーク14:30発)

▶参加費:300円(小中学生は無料)

▶申込締切:5月11日(火)

▶その他:10キロコース参加者は、各自昼食を準備して下さい。

さい。(携行品:嗜好品・手袋・タオル・飲料水・その他各自必需品)

【申し込み・問い合わせ先】教育委員会生涯学習グループ
(46-4744)

固定資産評価審査委員に
坂上清さん(観音林南)

3月4日の町議会定例会で、固定資産評価審査委員に坂上清さん(観音林南、59歳)を選任することが同意されました。任期は平成22年3月13日から平成25年3月12日までです。



火災予防コンクール
小田島君が入選

第33回火災予防運動ポスターコンクール(二戸地区広域行政事務組合消防本部主催)で、軽米小学校4年の小田島碧海君が入選を果たしました。小田島君は「火事が起きないでほしい」と思いで描きました」と話していました。



もしもの時に備えてますか?

3,000×80回で大きな安心 玉姫グループ互助会 会員募集中

宿泊室完備...24時間いつでも病院から直接入室できます。

お年寄りの方や、お体の不自由な方にも対応したバリアフリー施設です。

玉姫グループ

葬儀・法要専門会館

24時間受付 電話46-4109

軽米セレモニーホール真照堂

岩手県九戸郡軽米町大字上館15-130-1

※広報かるまいでは、町内の業者等からの広告を掲載しています

さるなしドリンク
20%果汁

好評発売中



(問) 榎軽米町産業開発(Tel.46-4222)

好評発売中

軽米町産さるなし100%使用

さるなしのお酒
(甘口、リキュール)

500ml ¥1,260(税込み)

販売元・お問い合わせ
リカー&フーズこばやし(Tel.46-2059)





冠婚葬祭 2月届出分 〈敬称略〉

おめでた () 内は父母の名

蛇口西館璃空 (孝則・理実)
 高清水小森あつき揮 (満・有記)
 沢里菅原ゆきな奈 (宗将・愛理)
 萩田小田あやみ心 (明・恵美)

おしあわせに

井戸 学 (屋敷)
 秋山 恵美子 (八戸市)

おくやみ

() 内は享年

鶴飼鶴飼サクラ (69歳)
 軽米駒木西館和夫 (76歳)
 駒板久保田ハツエ (94歳)
 仲軽米山下タツ (73歳)
 米田梅木ヤエ (91歳)
 高家田端喜四智 (80歳)
 向川原館下フデ (97歳)
 沢田兼田正一郎 (80歳)
 貝喰下村タミ (86歳)
 山田日脇藤吉郎 (81歳)
 百目金中野勝三 (80歳)

※お名前が俗字であっても正字で記載される場合がありますので、ご了承ください。

●人の動き <平成22年2月28日現在/町民生活課調べ>

男 5,296人(±0) / 女 5,467人(-4)
 合計 10,763人(-4) / 世帯数 3,737(+5)
 ※ () は前月比

転入 22人(29人) / 転出 19人(32人)

出生 4人(8人) / 死亡 11人(26人)
 ※ () は1月からの累計

JAWA岩手

みちのくアームレスリングクラブ軽米支部



「JAWA岩手みちのくアームレスリングクラブ軽米支部」(橋場照規支部長)は、町内の他、二戸管内や葛巻町などからメンバーが集まり、練習に汗を流しています。先日行われた北海道・東北アームレスリング選手権大会では橋場支部長が優勝、東北オープン大会では並岡秀和さんが準優勝するなど、好成績を残しています。チームの目標は「全国大会で勝って軽米支部の名を広げること」。互いに競い合いながら力をつけています。

■練習日時：毎週月・木曜日 20:00～23:00
 ■練習場所：橋場道場(大字山内)

わ・かるまい

我が家の人気者

あこやがさん



ヒーローごっこが大好きな耕慳くんは4月から幼稚園の年長組になりました。弟の快慳くんはトミカ(車のおもちゃ)が好きで、パトカーが一番のお気に入り。毎日のように交番にパトカーを見に行っています。

(お母さんから一言)
 2人仲良く、大きくなってね!ケンカはほどほどに。

右) 角田 ^{こうせい}耕慳 くん (4歳3カ月)
 左) ^{かいせい}快慳 くん (2歳1カ月)

愛称：こうくん、かいくん

(仲町) 耕哉さん・香織さんの長男、次男

ほっとひといき / 編集後記

今月号より「わ・かるまい」コーナーを新たに始めました。町内でさまざまな活動を行っている団体・サークルなどを紹介し、みんなの輪を広げていきたいという思いです。一緒に活動する仲間を探している場合は、ご連絡いただければと思います。お待ちしております!

3月で3つの小学校が閉校となりました。閉校式では、子ども達が一生懸命歌う姿を見て、とても感動してしまい、涙をこらえるのに苦労した三日間でした。何はともあれ、今回の閉校・統合が、子ども達にとって大きくプラスになることを願っています。(山下)